

ふじしま観光協会設立30周年記念 「ポスターで巡る藤島の観光」展

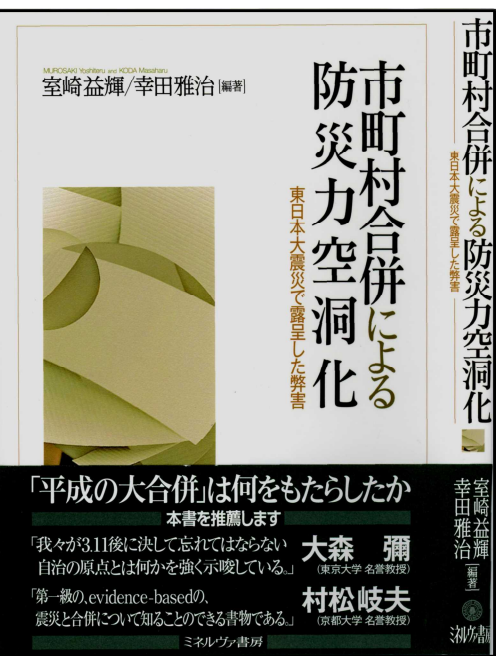


「平成の大合併は何をもたらしたのか」、3・11の被災地の実態を調査し、震災と合併について第一級の分析の本が出版されました。

市町村合併による 防災力空洞化

ふじしま観光協会は、前身の「藤島町観光協会」が昭和59年2月21日に設立され、今年で30周年を迎えました。設立30周年の記念として、観光事業を振り返り「ポスターで巡る藤島の観光」展が開催されます。

「平成の大合併は何をもたらしたのか」、3・11の被災地の実態を調査し、震災と合併について第一級の分析の本が出版されました。



「自治体合併による行政区域の広域化は、複合的な災害に遭遇する可能性と広域巨大災害に巻き込まれる可能性を高めると想定できる。」（中林一樹）

異分析・頭音消失・原因譚

大沼 浩

地名もことばですから、命名から時がたつと意味が分からなくなったり、形が変わったりします。こうした変化を遡る語源学の用語が幾つかあります。異分析はメタアナリシスといいます。小波渡（こばとは）は小・波渡で小さな船だまり、小波・渡で小さな波を渡るところではありませぬ。頭音消失はアフエレシスといい、出羽はイデハ→デワ。弥彦はイヤヒコ→ヤヒコです。語中音消失→シンコピ、

「合併の行きつく先は、周辺部に位置する地域の更なる衰退と地域力の低下である。」（幸田雅治）

「被災地からみれば、道州制や市町村合併の動きはますます社会的脆弱性を増進させる無謀な主張のように見える。なぜなら、実質的に行政機能が崩壊して、緊急期の支援活動に支障が生じているのは、広域合併をして周縁部になった孤立地域の方だからである。」（今井照）

「東日本大震災で大きな被害を受けた地域では、広域合併が震災直後の態勢づくりや復興

新春交流会開催

藤島二一ぷ委員会・庄内医療生協 藤島支部共催

1月18日、藤島ふれあいセンターにおいて50人近くの組合員が出席し、新春交流会が開かれました。(写真左)

交流会では、鶴岡協立病院副院長の市川医師による健康講話(心臓と血管の話)がありました。

心臓血管センター所長としての経験など、スライドを使いわかりやすく説明してくれました。

質疑では、造影剤アレルギー、手足のしびれ、手足の痛みなど日頃の悩みなど多く出され、丁寧に説明してくれました。

鶴岡生協からは、昨年末に可決した秘密保護法について話され、秘密指定が恣意的にされれば、戦前のあの暗黒政治が再び繰り返し、いつの間にか戦争ができる国に作り替えられる恐れがあり、反対運動の必要が訴えられました。

その後懇親会では、尺八、漫談、歌など、

新春対談―暴圧者スターリンも恐れた音楽の力 ②

―「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇



参加者の多彩な出し物を披露しあい、新しい年も一層元気で活躍することを誓い合って終了しました。(成田)

解できなくても、音楽の持つ力は理解していたのですねと応じる。

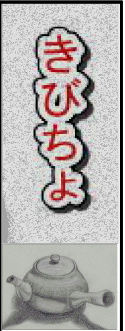
志位さんが、私たちは、スターリン以後のソ連は社会主義とは無縁の専制社会に変質したと

スターリンは劇場でオペラ「ムツエンスク郡のマクベス夫人」を見て、直感的に、これは民衆の心に訴える強い力を持っている危険のものとして弾圧する。それについて志位さんは、音楽は論理や事実で語るのではなく、人間の魂に直接訴えかけると言い、荒井さんは、スターリンは音楽は理

その中でも屈せず、人間の良心を守って、深い精神性をたたえた記念碑的傑作を残したのはず、すごいことと言つと、荒井さんは、彼の音楽にはユダヤ人をテーマにしたものがあり、スターリンはユダヤ人を迫害しています。それがわかっていて迫害された人々への共感を音楽にしていますとこた

民報藤島1月12日号の「藤島地域での出初式中止」に対し、読者から意見が寄せられました。「藤島の伝統を無くしてはならぬ」「本所の出初式は一部の幹部だけで、一度も出初式に出たことのない団員が生まれる」「団員は災害時には悪条件で強い意志が必要。出初式は使命感を高める最大の訓練」「災害時は地域庁舎の支所長のリーダーシップが最も重要。出初式なくして地域の防災力はない」など。

志位さんは、ソ連社会はたくさん迫害・裏切り、むごたらしい犠牲者を生んだが、それに抵抗して、人類の



除名された人を推薦 やっぱり居たネー。

1人くらいは居ると思つたし、居なければ逆に変だと思つたんだ。都知事選に立候補するという榊添氏を支持しないという人のことです。

▼これがまた若手でハグレが良くて人気があるもんだから、今後はシャベルナと押さえつけられているようだが。

▼大臣まで務めながら自民党は自分の考えと違うからと別の党へ出て行つた。これを自由で民主的という党が除名したのだった。

▼何段階かある処分では、最高の処分が除名で、政治を語る相手ではない、という処分だ。自民党に敵対する人になつたから当然と思つが、知事選ではその人を推薦するというのが。一方、首を切つた彼を幹事長室に呼んで話し合つたが、党本部は支持

歴史に残る芸術的文化的遺産をつくつた人間の不屈の営みもあつたということも記録されるべきです。と締めくくっている。

しないとのこと。▼大変おかしなじゃないですか。支持するのは都連であり中央は支持しないというのだ。普通は中央の言うことを聞かないヤツはブツツされるのだが。

▼現に沖繩の県連は、中央にオドされて公約を破らされたでしょ。今回は中央の言うことは聞かなくてもいいというのだ。ニコニコと。

▼もう一つおかしなと思うのは、自民党を出て行つたトンデモナイヤツだからと首を切つていながら、党の幹事長室に呼んだことだ。▼党の幹事長室と言えば「奥の院」でしょ。普通の黨員だつて簡単には入れない所へ、大罪人たる人を入れたことだヨ。これはドツチもドツチということか。無節操だネー。

▼マ、政治信条ナンテどうでもいいということなんでしょ。こんな方々が考える政策はネー。(石川)

